



委員長
高山豊吉



副委員長
小野泰秀



委員
佐藤辰己

市民の皆さま方との触れあいを念頭に、広報紙づくりに携わってまいりました。

老・若・男・女。

さまざまなお考えが生き生きとした豊後大野市づくりにつながるように……。

多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

※平成23年3月11日に起きた東日本大震災のつめ跡は、あまりにも大きい。早期の復興を祈るのみであります。

広報委員会として

の力量が問われるこ

とは、質問者、答弁

者の趣旨を十分把握

し、それをいかに正

確に限られた字数に

納め、しかも読者に

分かりやすいものが

出来るかだ。果たし

て、そのことが果た

されたのか疑問の残

るところであるが、

ただ言えることは、

広報委員一丸となっ

て持ちうる力の限り

を常に出し切つてき

たことだ。

今は達成感と安堵

の気持ちだ。広報委

員の皆さん、2年間

お世話になりました。

『ありがとう』と皆さんに伝えたい。

ことばを文字にする

難しさを痛感した2

年でした。広報を等

しく正確に伝える使

命の中、何度も委員

会を開催し、その度

に一文一文字を確

認しながら、合わせ

て自分自身の研鑽が

出来ました。

『一回の広報紙作

成に多くの時間を費

やしたこと』、『児童

生徒のひとことで、真

の声のかけ橋になっ

たのではないか』な

どが思い出されます。

今後市民との声

のかけ橋に期待しま

す。

2年を振り返って

議会広報編集委員を務めた委員から



委員
和田哲治



委員
沓掛義範



委員
神志那文寛

2年前、何となく読んでいた自分が、気がつけばその議会広報編集委員。すべてにそつ無く熟なすベテラン委員(議員)に、ようやく付いてこれたこの前期2年間でした。

地元の小・中学生

への記事の依頼や誌内の写真撮影へも初めて経験でしたが、

多くの市民と触れ合

うこともできました。

編集に携わっている

ことも認められ、多

くの皆様より「読み

やすいし、次回も楽し

みにしているよ。」

との声。

感謝。

議会広報編集委員として2年間、自分独自の機関誌を発行することのない自分としては、この議会広報を通して、多くの皆さまに情報を伝えられたらとの思いで活動してまいりました。

限られた字数の中

で、いかに正確に物

事を伝えるかという

ことの難しさを教え

られた2年でありま

した。

これから多くの

皆さまに読んで頂

ける議会、たより「声

のかけ橋」を発行し

てまいります。

20年余離れていたふるさと三重町、合併して一つになった豊後大野市。広報委員会で各議員の一般質問を振り返る、写真撮影で各所をお訪ねする、その一つひとつが新鮮な再発見でした。

今や発行物は、読

ませる物から魅せる

物へ、担当職員の手

腕に助けられ、見や

すい誌面づくりが出

来たのではないかと

自負しています。

引き続きのご愛読

をよろしく願ひ

たします。

フィールドワーク研修

3/3 議会人権同和問題研修会

市 議会主催の人権同和問題研修会が教育委員会大野支局大野公民館で行われました。

室内での説明の後、講師の河野宗雄さんと一緒に現地を訪れ、その場で研修を行うという方法のフィールドワーク研修を行い、「部落はいつごろできたのか」「どういう人が部落の人になったのか」「どんな差別を受けてきたのか」「解放に向けての取り組み」などのお話がありました。

フ ィールドワーク研修後は、まとめとして画像を見ながら訪れた場所を再説明してくれるなど、とても分かりやすい研修となりました。



明尊寺



講師の河野宗雄さん

豊後大野市議会も支援

3/18 東北地方太平洋沖地震で被災された方々への支援を行う決議を可決

3 月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、地震と津波による被害は甚大なものとなっています。

豊 後大野市議会は、今回の地震・津波・原発災害で被害を受けた方々を救援するために、市民の先頭に立って全力で支援を行うことを決議いたしました。

学校訪問を実施

2/17 厚生文教常任委員会

昨 年11月に引き続き、2月17日に所管事務調査を行いました。

おおのさくら幼稚園、朝地小学校、朝地中学校、緒方中学校、そしてへき地小富士保育園の5か所を訪問し、子どもたちの授業を参観したり、園長や校長と意見交換などを行いました。

今 後も厚生文教常任委員会では、市内の全小中学校などを訪問する予定としています。



朝地小学校